

令和 5 年度

事 業 概 要



鳥取県食肉衛生検査所

〒689-3203

とっとりけんさいはくぐんだいせんちょうこたけ

鳥取県西伯郡大山町小竹1291-7

TEL:0859-54-2531

FAX:0859-54-4814

E-mail:shokunikueisei@pref.tottori.lg.jp

目 次

I 総説

1	沿革	1
2	組織及び職員の状況	2
3	職員配置	2
4	鳥取県食肉衛生検査所条例	3
5	と畜検査業務フローシート	4
6	施設の概要	5
7	主な検査機械器具	6
8	主要行事・職員の研修	7
9	と畜場概要	8

II 事業の概要

1	食肉衛生検査状況	
(1)	と畜検査頭数	9
(2)	検査結果に基づく措置	9
(3)	病畜検査	9
(4)	T S E (B S E) スクリーニング検査	9
(5)	と畜検査の詳細	
ア	月別と畜検査頭数	10
イ	月別病畜検査頭数	10
ウ	産地別搬入頭数	11
エ	と畜場内とさつ頭数及び獣畜のとさつ解体禁止又は廃棄したものの原因	12
オ	病類別一部廃棄頭数	13
カ	病畜疾病別検査頭数	14
(6)	試験室内検査実施状況	
ア	行政検査(精密検査)	15
イ	受託検査	15
ウ	調査研究	15
2	と畜場等の衛生管理指導	
(1)	枝肉等の衛生状態の把握	16
(2)	食品衛生月間	16
(3)	従事者の衛生教育	16
(4)	食品営業許可施設の監視指導	16
3	と畜検査データフィードバック事業	
(1)	生産者へのフィードバック	17
(2)	臨床獣医師へのフィードバック	17
4	検体採取等の協力	18
5	調査研究	18
6	食肉衛生検査所 P R 事業	19

III 研究発表の記録

1	過去10年間の学会・研修会発表記録	20
---	-------------------	----

IV 参考資料

1	年度別と畜検査頭数(鳥取県)	24
2	畜種別と畜検査頭数((株)鳥取県食肉センターと畜場)	24
3	と畜検査頭数の推移	25
4	全部廃棄原因別状況	26
5	検査結果に基づく処分頭数	27
6	鳥取県食肉衛生検査所案内図	27

I 総説

1 沿革

昭和 58 年 12 月 2 日	(株)鳥取県食肉センター「と畜場」許可（鳥取県指令受衛第 25 第 1 号）
昭和 58 年 12 月 5 日	(株)鳥取県食肉センター試験操業開始 米子保健所管轄のため、と畜検査は米子保健所検査員を主体に、県内と畜検査員の応援を求めと畜検査開始
昭和 58 年 12 月 13 日	鳥取県行政組織規則の一部改正公布 昭和 59 年 1 月 1 日施行 食肉衛生検査所職員定数 8 名 昭和 59 年 1 月 1 日付人事異動発令 （技術吏員 7 名、事務吏員 1 名） 非常勤職員（事務）1 名
昭和 59 年 2 月 1 日	食肉衛生検査所竣工式
昭和 60 年 3 月 31 日	(株)日清ハム付属と畜場廃止
昭和 60 年 5 月 1 日	米子保健所と畜検査員 2 名に食肉衛生検査所兼務発令
昭和 60 年 8 月 31 日	米子市営と畜場廃止
昭和 61 年 4 月 1 日	食肉衛生検査所 2 名増員（本務発令）により職員定数 10 名（技術吏員 9 名）
昭和 61 年 5 月 1 日	食肉衛生検査所 1 名増員により職員定数 11 名（技術吏員 10 名）
平成 3 年 11 月 30 日	中部食肉センターと畜場廃止
平成 8 年 3 月 31 日	鳥取市営と畜場廃止
平成 10 年 4 月 1 日	食肉衛生検査所 1 名減員により職員定数 10 名（技術吏員 9 名） （財）食肉衛生協会事務所が食肉衛生検査所庁舎内に移転
平成 12 年 4 月 1 日	鳥取県食肉衛生検査所条例（鳥取県条例第 16 号）制定、同日施行
平成 13 年 10 月 15 日	BSE 検査対応で食肉衛生検査所 2 名増員（技術吏員）
平成 13 年 10 月 18 日	BSE 検査開始（平成 13 年 9 月 10 日、千葉県で国内最初の BSE 確認される）
平成 14 年 7 月 1 日	食肉衛生検査所 1 名増員（技術吏員）
平成 20 年 4 月 1 日	食肉衛生検査所 1 名減員（職員定数 13）事務次長を廃止し技術次長を配置
平成 23 年 8 月 11 日	と畜された牛枝肉の放射性セシウム全頭検査を開始
平成 24 年 7 月 31 日	と畜された牛枝肉の放射性セシウム全頭検査を終了
平成 25 年 4 月 1 日	食肉衛生検査所 1 名増員（技術吏員、職員定数 14）
平成 25 年 7 月 1 日	BSE 検査の対象牛を全頭から月齢 48 か月超に変更
平成 26 年 4 月 1 日	食肉衛生検査所 1 名減員（技術吏員、職員定数 13）
平成 29 年 4 月 1 日	BSE 検査の対象を月齢 24 か月以上の牛並びに全月齢のめん羊及び山羊のうち原因不明の神経症状等が認められる場合に変更
平成 30 年 4 月 1 日	食肉衛生検査所 1 名減員（技術吏員、職員定数 12）
令和 2 年 4 月 1 日	食肉衛生検査所 1 名減員（職員定数 12）

2 組織及び職員の状況

(1) 組織（令和5.4.1現在）

生活環境部 ― 暮らしの安心局 ― 暮らしの安心推進課 ― 食肉衛生検査所 ―

{

管理検査担当

試験検査担当

(2) 職員の状況（令和5.4.1現在）

区 分	所 長	次 長	課長補佐	係 長	衛生技師	会計年度職員等	計
技術吏員	1	1	2	3	4		11
事務吏員						1	1
計	1	1	2	3	4	1	12

3 職員配置

（令和5.4.1現在）

職 名		所 掌 事 務
所 長		総 括
次 長		事務の総括、と畜検査
管理 検査 担当	課 長 補 佐 (1 名)	管理検査担当総括、と畜検査 と畜場等の衛生指導、と畜検査 と畜検査
	係 長 (2 名)	
	衛 生 技 師 (2 名)	
試験 検査 担当	課 長 補 佐 (1 名)	試験検査担当総括、と畜検査 試験検査各部門担当、と畜検査 と畜検査
	係 長 (1 名)	
	衛 生 技 師 (2 名)	
会 計 年 度 職 員(1 名)		一般事務

4 鳥取県食肉衛生検査所条例

制定：平成12年3月28日(鳥取県条例第16号)

(設置)

第1条 地方自治法(昭和22年法律第67号)第156条第1項の規定に基づき、と畜検査及びと畜場の衛生並びにと畜場における食品衛生に関する事務を所掌させるため、鳥取県食肉衛生検査所(以下「検査所」という。)を西伯郡大山町に設置する。(平16条例68・一部改正)

(所管区域)

第2条 検査所の所管区域は、鳥取県の区域とする。

(手数料の徴収)

第3条 検査所において行う業務については、別表に定めるところにより、手数料を徴収する。

(手数料の減免)

第4条 知事は、特別の理由があるときは、規則で定めるところにより、手数料を減免することができる。

(規則への委任)

第5条 この条例に定めるもののほか、この条例の施行に関し必要な事項は、規則で定める。

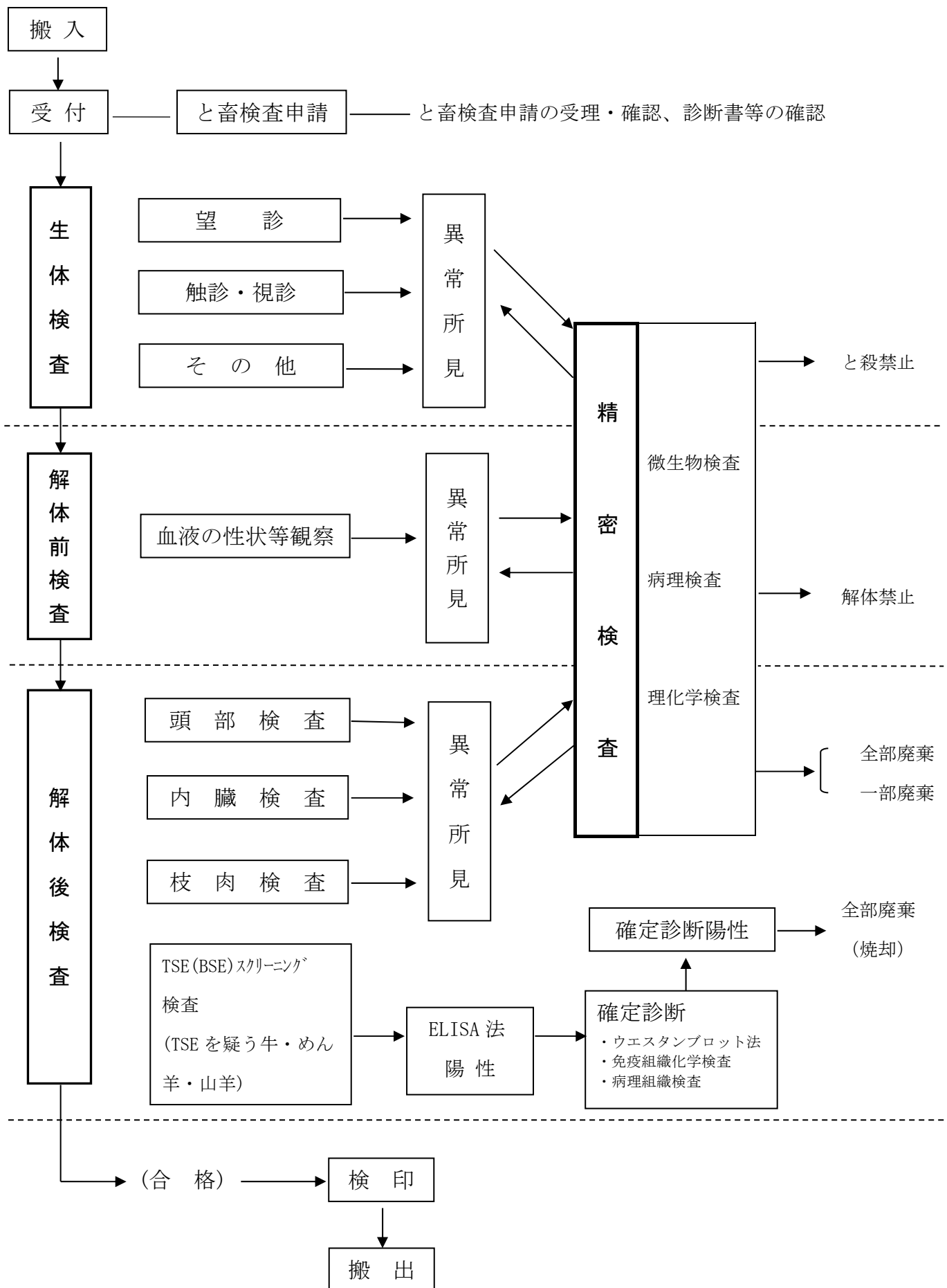
附 則(平成17年条例第100号)

この条例は、平成18年4月1日から施行する。

別表(第3条関係)

区 分	金 額
1 と畜場法(昭和28年法律第114号)第14条第1項から第3項まで(同条第4項において準用する場合を含む。)の規定による検査	
(1) 病畜以外の獣畜	
ア 生後1年未満の牛又は馬	
(ア) 生体50キログラム未満	1件につき 200円
(イ) 生体50キログラム以上	1件につき 450円
イ 生後1年以上の牛又は馬	1件につき 900円
ウ 豚	1件につき 420円
エ めん羊又は山羊	1件につき 200円
(2) 病畜	1件につき 1,300円
2 食肉の規格試験	
(1) 前処理の必要がないもの又は前処理として溶媒に溶解するものその他これに類する程度の前処理を行なうもの	1件につき 3,300円
(2) (1)以外のもの	1件につき 34,100円
3 食肉の一般試験	1成分につき 3,300円
4 証明書の発行	1通につき 420円

5 と畜検査業務フローシート



6 施設の概要

□ 敷地・建物

■ 敷地面積……1,483.53㎡

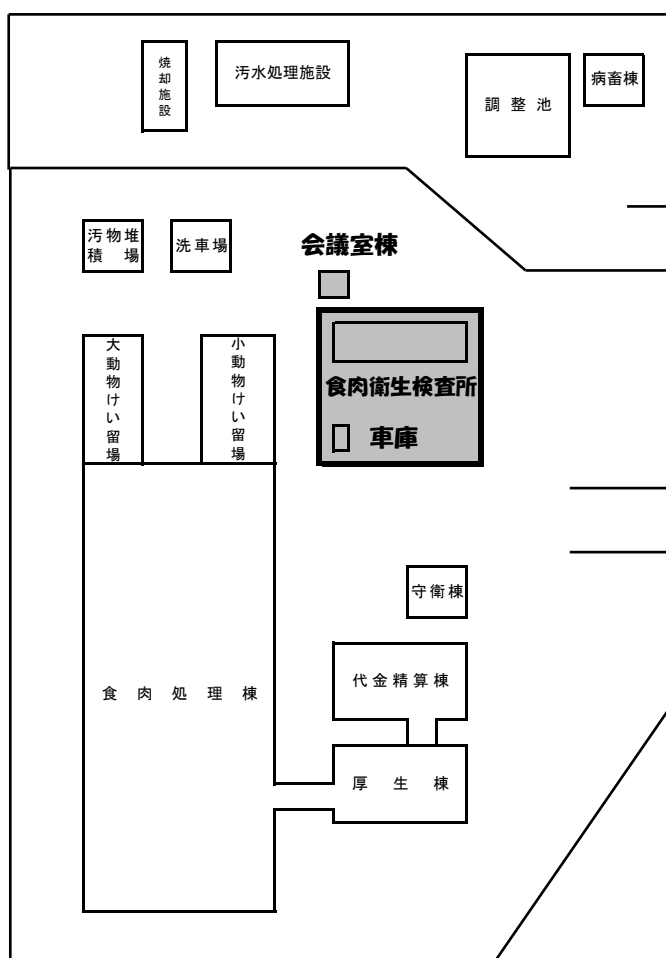
■ 建物面積……633.45㎡

●事務室・小会議室 92.4㎡ ●病理組織検査室 50.8㎡
 ●微生物検査室 47.8㎡ ●理化学検査室 42.4㎡
 ●遺伝子検査室 61.5㎡ ●その他 338.5㎡
 ○会議室 49.7㎡ ○車庫 16.1㎡

□ 建物平面図(鉄筋コンクリート平屋建)



□ 配置図(鳥取県食肉センター内)



7 主な検査機械器具

(1) 微生物検査

品名	数量	品名	数量
メディカルフリーザー	1	超音波洗浄器	1
冷凍冷蔵庫	1	ホモジナイザー	1
冷蔵庫	1	実体顕微鏡	1
高圧滅菌器	1	顕微鏡	1
クリーンベンチ	1	蛍光微分干渉顕微鏡	1
ストマッカー	2	プレートインキュベーター	1
乾熱滅菌器	1	インキュベーター	1
高速マイクロ冷却遠心器	1	電気ふらん機	1
恒温振盪水槽	1	アルミブロック恒温槽	1

(2) 病理検査

品名	数量	品名	数量
冷凍冷蔵庫	1	生物顕微鏡	1
小型滑走式ミクロトーム	1	ディスカッション顕微鏡	1
ミクロトーム	1	電気恒温器	1
ミクロトームクリオスタット	1	パラメディカル撮影装置	1
恒温乾燥器	1	赤外線水分計	1
包埋ブロック作成装置	1	ティッシュプロセッサ	1
インキュベーター	1	万物用天秤	1

(3) 理化学検査

品名	数量	品名	数量
バイオメディカルフリーザー	1	振とう機	1
冷凍冷蔵庫	1	臨床用ヘマトクリット遠心機	1
遠心機	1	分光光度計	1
ドラフトチャンバー	1	臨床化学自動分析装置	2
多項目自動血球計数装置	1	アイススライサー	1
デシケーター	1	電気泳動装置	1
マルチビーズショッカー	1	電気泳動ゲル撮影装置	1
マイクロプレートリーダー	1	遺伝子増幅装置	1

(4) 遺伝子検査

品名	数量	品名	数量
冷蔵庫	1	トランスイルミネーター	1
メディカルフリーザー	1	遺伝子増幅装置	1
高圧滅菌器	2	リアルタイム PCR システム	1
安全キャビネット	2		

(5) その他

品名	数量	品名	数量
プロジェクター	1	薬品庫	1
カメラ・デジタルカメラ	3		

8 主要行事・職員の研修

開催月	会 議 名・研 修（講 習 会）名	開 催 地
4 月	食品衛生担当者会議及び収去研修	鳥取市
5 月	食品担当初任者研修会	鳥取市
6 月	食中毒基礎研修会	鳥取市
7 月	(株)鳥取県食肉センター畜魂祭	大山町
7 月	鳥取県公衆衛生学会	米子市
7 月	令和5年度全国食肉衛生検査所長会議及び第59回全国食肉衛生検査所協議会全国大会	山形県
7 月	食品衛生担当職員業務研究発表会	鳥取市
7 月	第54回鳥取県獣医学会	鳥取市
8 月	家畜防疫リーダー研修会	倉吉市
8 月	第66回中国地区公衆衛生学会	鳥取市
8 月	フィードバック会議	大山町
9 月	令和5年度全国公衆衛生獣医師協議会全国大会研修及び調査研究発表会	東京都
9 月	令和5年度全国食肉衛生検査所協議会微生物部会総会・研修会	静岡県
9 月	令和5年度獣医学術中国地区学会	米子市
10月	令和5年度全国食肉衛生検査所協議会理化学部会総会及び研修会	横浜市
10月	令和5年度中国公衆衛生獣医師協議会役員会	米子市
10月	HACCP研修会	米子市
10月	獣医師就職説明会	青森県
11月	鳥取県獣医師業務説明会	愛媛県
11月	と畜場運営委員会（第1回）	大山町
11月	HACCPに基づく衛生管理実地研修	島根県
11月	食品担当者会議	倉吉市
11月	令和5年度全国食肉衛生検査所協議会病理部会総会及び研修会	神奈川県
12月	第41回日本獣医師会獣医学術学会年次大会	兵庫県
1 月	令和5年度食肉及び食鳥肉衛生技術研修並びに研究発表会	東京都
2 月	令和5年度畜産技術業績発表会	鳥取市
2 月	狂犬病実技研修会	湯梨浜町
2 月	鳥取県生活環境部実務担当者会議	倉吉市
2 月	令和5年度検査精度管理業務研修会	広島県
3 月	食品衛生担当者会議	鳥取市
3 月	と畜検査・処理改善委員会	大山町
3 月	と畜場運営委員会（第2回）	大山町

9 と畜場概要

(令和 5 . 4 . 1 現在)

名 称	鳥取県食肉センター	処 理 能 力 (日)	大動物：60 小動物：550
設 置 者	(株)鳥取県食肉センター	と 殺 方 法	大動物：銃撃 小動物：電撃
管 理 者	(株)鳥取県食肉センター	冷蔵(冷凍)庫	枝肉 牛 177 頭、豚 1,095 頭
所 在 地	西伯郡大山町小竹 1291-1	使 用 水	井戸水
許 可 年 月 日	昭和 58 年 12 月 2 日	汚 物 焼 却 能 力	焼却炉 195 kg / 時
と 畜 場 区 分	一般と畜場	汚 水 処 理	1,000t/日 活性汚泥法(三次処理)
と 畜 場 番 号	6	血 液 処 理 装 置	有
敷 地 面 積	48,880 m ²	部 分 肉 処 理 施 設	有(960 m ²)
建物構造面積	鉄筋 7,502 m ²		

Ⅱ 事業の概要

1 食肉衛生検査状況

(1) と畜検査頭数

令和5年度における総検査頭数は78,990頭で、畜種別内訳は、牛は5,311頭（和牛1,810頭、乳牛3,500頭、肉専用種1頭）、豚は73,653頭、とく2頭、めん羊12頭、山羊12頭であった。年間の1日当たりの平均検査頭数は、牛23頭、豚307頭であった。

(2) 検査結果に基づく措置

検査の結果、と体の一部を廃棄するなどの処分をした総頭数は19,042頭（総検査頭数の24.1%）であった。

ア 禁止

とさつ禁止頭数は豚1頭で、処分理由は豚丹毒であった。

イ 全部廃棄

全部廃棄頭数は183頭で、畜種別では牛80頭、豚103頭であった。原因別では、膿毒症54頭、敗血症42頭、高度の水腫32頭、牛伝染性リンパ腫26頭、全身性の筋肉変性15頭、高度の黄疸7頭、尿毒症4頭、腫瘍の多発2頭、全身性の出血性炎症1頭であった。

ウ 一部廃棄

筋肉、内臓の一部を廃棄したものは、18,858頭で、畜種別では牛3,564頭（処分率67.1%）、とく1頭（50.0%）、豚15,289頭（20.8%）、めん羊3頭（25.0%）、山羊1頭（8.3%）であった。

(3) 病畜検査

生体検査時に起立不能、歩行困難等の異常があるなど、何らかの疾病が疑われた412頭の病畜を検査した。畜種別では、牛411頭（99.8%）、とく1頭（0.2%）であった。

検査の結果、全部廃棄処分したものは牛62頭であり、全部廃棄率としては牛15.0%であった。

(4) TSE（BSE）スクリーニング検査

平成13年9月に国内で初めて牛海綿状脳症（以下「BSE」という。）の罹患牛が確認され、同年10月から全国のと畜場で処理される全ての牛についてBSEスクリーニング検査が開始された。その後、平成17年に山羊、めん羊が検査対象に追加され、伝達性海綿状脳症（以下「TSE」という。）のスクリーニング検査となった。

国内でのBSE対策による発生リスクの低減に伴い検査対象の見直しが定期的になされ、現在は神経症状を示す等と畜検査員が疾病鑑別のため検査が必要と判断する牛、山羊及びめん羊がスクリーニング検査対象となった。令和5年度は該当するものはなかった。

(5) と畜検査の詳細

ア 月別と畜検査頭数

月	総頭数	牛				馬	とく	豚	めん羊	山羊	開場日数
		和牛	乳牛	肉専用種	計						
4	7,085	185	295	0	480	0	0	6,603	2	0	20
5	7,085	132	289	0	421	0	0	6,663	1	0	20
6	6,844	168	278	0	446	0	0	6,398	0	0	21
7	6,447	149	321	0	470	0	0	5,972	3	2	20
8	6,849	155	308	0	463	0	0	6,386	0	0	21
9	6,391	136	283	0	419	0	0	5,966	1	5	20
10	6,706	131	314	0	445	0	0	6,256	0	5	22
11	6,401	206	316	0	522	0	2	5,876	1	0	20
12	6,517	137	306	0	443	0	0	6,074	0	0	18
1	6,170	136	261	0	397	0	0	5,770	3	0	19
2	6,205	162	279	1	442	0	0	5,762	1	0	19
3	6,290	113	250	0	363	0	0	5,927	0	0	20
5年度合計	78,990	1,810	3,500	1	5,311	0	2	73,653	12	12	240
4年度合計	84,887	1,715	3,632	2	5,349	0	8	79,490	10	30	242
前年度比(%)	93.1	105.5	96.4	50.0	99.3	—	25.0	92.7	120.0	40.0	99.2

イ 月別病畜検査頭数

月	総頭数	牛				馬	とく	豚	めん羊	山羊
		和牛	乳牛	肉専用種	計					
4	25	6	19	0	25	0	0	0	0	0
5	24	8	16	0	24	0	0	0	0	0
6	38	6	32	0	38	0	0	0	0	0
7	37	8	29	0	37	0	0	0	0	0
8	47	4	43	0	47	0	0	0	0	0
9	40	5	35	0	40	0	0	0	0	0
10	40	2	38	0	40	0	0	0	0	0
11	36	5	30	0	35	0	1	0	0	0
12	30	8	22	0	30	0	0	0	0	0
1	26	5	21	0	26	0	0	0	0	0
2	35	8	27	0	35	0	0	0	0	0
3	34	7	27	0	34	0	0	0	0	0
5年度合計	412	72	339	0	411	0	1	0	0	0
4年度合計	516	62	450	1	513	0	2	0	0	1

ウ 産地別搬入頭数

産 地	牛	馬	とく	豚	めん羊	山羊
鳥 取 市	737		1	1,329		
岩 美 町	24		0	0		
八 頭 町	156		0	0		
若 桜 町	27		0	429		
智 頭 町	33		1	0		
(東部地区計)	977	0	2	1,758	0	0
倉 吉 市	419			2,732		
湯 梨 浜 町	0			0		
三 朝 町	37			0		
北 栄 町	155			1,973		
琴 浦 町	3,009			16,343		
(中部地区計)	3,620	0	0	21,048	0	0
米 子 市	3			0	1	0
境 港 市	0			0	0	0
南 部 町	108			102	6	0
伯 耆 町	19			0	0	2
日 吉 津 村	0			0	0	0
大 山 町	510			43,839	0	0
日 南 町	3			0	0	0
日 野 町	8			0	0	0
江 府 町	31			0	0	0
(西部地区計)	682	0	0	43,941	7	2
鳥 取 県 合 計	5,279	0	2	66,747	7	2

産 地	牛	馬	とく	豚	めん羊	山羊
北 海 道	10					
長 野	2					
岐 阜	1					
島 根	10				5	10
岡 山	5					
広 島				6,906		
高 知	1					
熊 本	1					
宮 崎	2					
県 外 合 計	32	0	0	6,906	5	10
総 計	5,311	0	2	73,653	12	12

エ と畜場内とさつ頭数及び獣畜のとさつ解体禁止又は廃棄したものとの原因

区分	と畜場とさつ頭数	処理	処分実頭数	疾病別頭数																			計																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
				細菌病								ウイルス		原虫		寄生虫病		その他の疾病																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
				炭疽	豚丹毒	サルモネラ症	結核	ブルセラ症	破傷風	放線菌病	その他	豚熱	その他	トキソプラズマ症	その他	膿毒症	敗血症	尿毒症	黄疸	水腫	腫瘍	中毒諸症		炎症による汚染性産物	変性又は萎縮	その他																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
牛	5,311	禁止																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												

オ 病類別一部廃棄頭数

区分	疾病名	豚	牛				とく	めん羊	山羊
			和牛	乳牛	肉専用種	計			
呼吸器系	肺炎(SEP様)	7,976	0	0	0	0	0	0	0
	〃(ヘモフィルス様)	78	0	0	0	0	0	0	0
	〃(その他の型)	0	58	98	0	156	0	0	0
	肺膿瘍	89	0	0	0	0	0	0	0
	胸膜炎	2,284	174	310	0	484	0	1	0
	小 計	10,427	232	408	0	640	0	1	0
循環器系	心外膜炎	1,654	21	128	0	149	0	0	0
	心筋炎	0	27	72	0	99	0	0	0
	小 計	1,654	48	200	0	248	0	0	0
消化器系	胃炎	0	16	70	0	86	0	0	0
	胃潰瘍	0	5	24	0	29	0	0	0
	腸炎	978	52	126	0	178	0	0	0
	腸間膜水腫	10	1	4	0	5	0	0	0
	腸間膜脂肪壊死	0	44	1	0	45	0	0	0
	腸結節虫	0	1	5	0	6	0	2	0
	腸間膜抗酸菌症	177	0	0	0	0	0	0	0
	腸気泡症	4	0	0	0	0	0	0	0
	肝炎(膿瘍型)	0	51	211	0	262	0	0	0
	〃(鋸屑肝型)	0	490	714	0	1,204	0	0	0
	〃(胆管炎型)	0	31	48	0	79	0	0	0
	〃(その他の型)	2,004	45	61	0	106	0	0	0
	肝包膜炎	775	42	109	0	151	0	0	0
	退色肝	350	3	50	0	53	0	0	0
	肝硬変	0	0	0	0	0	0	0	0
	肝富脈斑	0	61	241	0	302	0	0	0
	肝蛭症	0	0	0	0	0	0	0	0
	寄生肝(豚回虫)	1,052	0	0	0	0	0	0	0
	腹膜炎	211	8	12	0	20	0	0	0
	小 計	5,561	850	1,676	0	2,526	0	2	0
泌尿・生殖器系	腎炎	1,040	126	272	0	398	0	0	0
	膀胱炎	8	79	38	0	117	0	0	0
	子宮内膜炎	0	6	54	0	60	0	0	0
	乳房炎	0	1	91	0	92	0	0	0
	小 計	1,048	212	455	0	667	0	0	0
運動器系	放線菌症	0	4	3	0	7	0	0	0
	膿瘍	1,956	13	36	0	49	0	0	1
	関節炎	188	13	91	0	104	0	0	0
	骨折	22	2	15	0	17	1	0	0
	脱臼	0	6	37	0	43	0	0	0
	筋肉変性	118	0	0	0	0	0	0	0
	水腫	253	19	85	0	104	0	0	0
	褥瘡	0	5	40	0	45	0	0	0
	筋出血(打撲)	749	438	963	0	1,401	1	0	0
	小 計	3,286	500	1,270	0	1,770	2	0	1
	炎症による内臓全廃	93	0	0	0	0	0	0	0
	腫瘍	0	0	0	0	0	0	0	0
	黄疸	6	0	0	0	0	0	0	0
	合 計	22,075	1,842	4,009	0	5,851	2	3	1
廃棄実頭数		15,289	1,182	2,382	0	3,564	1	3	1

カ 病畜疾病別検査頭数

畜種 病名		豚	牛				とく	山羊	合計
			和牛	乳牛	肉専用種	計			
禁止つとさ		0	0	0	0	0	0	0	0
	小計	0	0	0	0	0	0	0	0
全部廃棄	膿毒症	0	0	3	0	3	0	0	3
	敗血症	0	0	6	0	6	0	0	6
	尿毒症	0	2	0	0	2	0	0	2
	高度の黄疸	0	0	2	0	2	0	0	2
	高度の水腫	0	5	27	0	32	0	0	32
	豚丹毒	0	0	0	0	0	0	0	0
	白血病	0	6	11	0	17	0	0	17
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0
	小計	0	13	49	0	62	0	0	62
循環器系・呼吸器系	心外膜炎	0	0	2	0	2	0	0	2
	肺炎	0	3	11	0	14	0	0	14
	肺膿瘍	0	0	0	0	0	0	0	0
	胸膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0
	小計	0	3	13	0	16	0	0	16
消化器系	鼓脹症	0	0	0	0	0	0	0	0
	弛緩症	0	0	0	0	0	0	0	0
	四胃変位	0	0	12	0	12	0	0	12
	創傷性胃炎	0	0	1	0	1	0	0	1
	胃炎	0	3	11	0	14	0	0	14
	腸炎	0	2	17	0	19	0	0	19
	腸間膜脂肪壊死	0	3	0	0	3	0	0	3
	腹膜炎	0	1	5	0	6	0	0	6
	肝炎	0	2	2	0	4	0	0	4
	肝膿瘍	0	0	4	0	4	0	0	4
	胆管炎	0	0	0	0	0	0	0	0
	肝硬変	0	0	0	0	0	0	0	0
	肝蛭症	0	0	0	0	0	0	0	0
	小計	0	11	52	0	63	0	0	63
泌尿器・生殖器系	腎炎	0	1	3	0	4	0	0	4
	膀胱炎	0	1	0	0	1	0	0	1
	尿石症	0	8	0	0	8	0	0	8
	子宮蓄膿症	0	0	3	0	3	0	0	3
	子宮内膜炎	0	0	3	0	3	0	0	3
	子宮捻転	0	0	2	0	2	0	0	2
	子宮脱・膣脱	0	0	0	0	0	0	0	0
	脱肛	0	0	0	0	0	0	0	0
	乳房炎	0	0	30	0	30	0	0	30
	難産	0	0	1	0	1	0	0	1
	小計	0	10	42	0	52	0	0	52
運動器系	骨折	0	1	13	0	14	1	0	15
	関節炎	0	9	54	0	63	0	0	63
	脱臼	0	6	37	0	43	0	0	43
	骨軟症	0	0	0	0	0	0	0	0
	膿瘍	0	0	3	0	3	0	0	3
	筋間出血	0	5	15	0	20	0	0	20
	筋間水腫	0	1	3	0	4	0	0	4
	蹄病	0	0	18	0	18	0	0	18
	フレグモーネ	0	1	6	0	7	0	0	7
	小計	0	23	149	0	172	1	0	173
その他	放線菌病	0	2	0	0	2	0	0	2
	熱射病	0	0	0	0	0	0	0	0
	産後起立不能症	0	6	18	0	24	0	0	24
	原因不明起立不能症	0	2	7	0	9	0	0	9
	腫瘍	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	0	2	9	0	11	0	0	11
	小計	0	12	34	0	46	0	0	46
合計		0	72	339	0	411	1	0	412

(6) 試験室内検査実施状況

ア 行政検査（精密検査）

精密検査（と畜検査に係る検査）の実施頭数は123頭で、検査延べ件数は1,264件であった。

検査区分 畜種	検査頭数	顕微鏡検査	微生物検査	病理組織検査	理化学検査	検査延べ件数
牛	72	133	124	259	41	557
豚	51	287	394	10	16	707
合計	123	420	518	269	57	1,264
令和4年度	208	239	475	242	61	1,017

イ 受託検査

中部および西部総合事務所から30件の委託を受けて細菌検査を実施した。

検査区分 項目	受託件数	微生物検査	病理組織検査	理化学検査	検査延べ件数
HACCP 外部検証 鶏	30	60	0	0	60
その他					
合計	30	60	0	0	60
令和4年度	25	50	0	0	50

ウ 調査研究

病理検査及び微生物検査、その他、合計990件の検査を実施した。

検査区分 畜種	検体数	顕微鏡検査	微生物検査	病理組織検査	理化学検査	その他	検査延べ件数
病理検査	54			94			94
微生物検査（PCR）	369		740				740
微生物検査（汚染度調査）							
微生物検査（同定）	6	10	20				30
精度管理	11	3	43		80		126
残留物質							
その他							
合計	440	13	803	94	80	0	990
令和4年度	39	3	277	54	80	0	414

2 と畜場等の衛生管理指導

(1) 枝肉等の衛生状態の把握

と畜場の衛生状態を把握するため、枝肉の切除法検査を実施し、検査結果に基づき衛生指導を行った。

切除法検査

区 分	項 目	実施回数	件 数
牛枝肉	腸内細菌科菌群数	12	60
	一般細菌数	12	60
豚枝肉	腸内細菌科菌群数	12	60
	一般細菌数	12	60

(2) 食品衛生月間

食品衛生月間（8／1～8／31）に合わせてと畜場入り口に垂れ幕及び立て看板を設置して来場者の衛生意識の高揚を図った。

(3) と畜場従事者への衛生教育

HACCPに基づく外部検証として毎月衛生監視を実施し、と畜場の衛生管理及び従事者の衛生管理について指導を行い、理解を深めた。

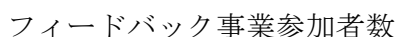
(4) 食品営業許可施設の監視指導

と畜場に併設する食肉処理業、食肉販売業、食品の冷凍冷蔵業の食品営業許可施設について監視を実施（令和5年度5回実施）し、不適事項については改善するよう指導した。

(1) 生産者等へのフィードバック

と畜検査で得た家畜の疾病状況を1か月ごとのデータとして取りまとめ、家畜保健衛生所及び生産者・農協等へフィードバックしている。

検査データ還元フロー



(2) 臨床獣医師へのフィードバック

– 17 –

4 検体採取等の協力（R5）

依 頼 者	目 的	検 体
鳥取大学農学部共同獣医学科	牛の妊娠子宮及び胎子の構造理解（学生実習用）	牛の妊娠子宮
	家畜の体外受精に関する研究	牛の卵巣
	家畜の雌性および雄性生殖器の形態学的研究（学生実習用）	牛の卵巣・子宮、豚の卵巣・子宮、豚・牛精巣・陰茎
J A全農ミートフーズ（株） 鳥取営業所	自社農場の疾病状況調査	豚の肺及び鼻甲介
（独）家畜改良センター 鳥取牧場	人工授精、受精卵移植の受胎率向上のための職員研修	牛の卵巣・子宮
鳥取県畜産試験場	「体外受精卵技術を活用した和牛増頭と育種改良技術の確立」の研究	牛の卵巣・子宮
鳥取県倉吉家畜保健衛生所	家畜人工授精師講習会の教材	牛の卵巣・子宮
鳥取県中小家畜試験場	豚受精卵保存試験に伴う卵子採取（訓練）のため	豚の卵巣

5 調査研究

本県における *Sarcocystis* を原因とする健康被害は現時点で報告されていないが、と畜場に搬入された牛の *Sarcocystis* について、寄生状況の調査を行ったので学会等で報告を行った。

6 食肉衛生検査所 P R 事業

令和 5 年度には下記の視察・研修を受け入れ、事業説明・P R 等を積極的に行った。

視察・研修会の概要

	月 日	来 訪 団 体 名 等	研 修 会	受講者数
1	7 月 11 日	医師卒後研修	検査所見学実習	1 名
2	7 月 26 日	鳥取県立米子南高等学校生活文化科	検査所見学実習	21 名
3	8 月 8 日、9 日	県内高校生	獣医師を目指す中高校生セミナー	17 名
4	8 月 10 日	公立鳥取環境大学環境学部	検査所見学実習	8 名
5	8 月 21 日～23 日	県庁インターンシップ実習	検査所見学実習	2 名
6	9 月 13 日	鳥取大学農学部共同獣医学科インターンシップ実習	検査所見学実習	3 名
7	10 月 13 日	学校法人松柏学院 倉吉北高等学校	検査所見学実習	15 名
8	11 月 20 日	島根県食肉衛生検査所	検査所視察	3 名
9	12 月 26 日	公立鳥取環境大学環境学部	検査所見学実習	8 名
10	令和 6 年 1 月 25 日	鳥取大学農学部共同獣医学科	検査所見学実習	39 名
11	3 月 4 日	島根県食肉衛生検査所	検査所視察	3 名
合 計			11 回	120 名

Ⅲ 研究発表の記録

1 過去 10 年間の学会・研修会発表記録

発表年度	演 題 名	学 会、研 修 会	演 者 名
平成 26 年度	食肉運搬車両の衛生監視指導について	食品衛生担当業務研究発表会 鳥取県公衆衛生学会 中国地区食品衛生監視員研究発表会 食肉衛生技術研修会・衛生発表会 全国食肉衛生検査所協議会中国・四国ブロック会議及び技術研修会	門木淳子
	敗血症を呈した牛から分離された大腸菌の病原性関連遺伝子の検索	鳥取県獣医学会 獣医師会中国地区三学会（※）	水谷恵子 西尾尚紀※
平成 27 年度	牛枝肉洗浄におけるカンファ水使用の効果とと畜場の衛生管理	食品衛生担当業務研究発表会 鳥取県公衆衛生学会 中国地区食品衛生監視員研究発表会 全国食肉衛生検査所協議会中国・四国ブロック会議及び技術研修会 鳥取県獣医学会	谷 泉乃
	と畜検査において認められた豚の白血病	鳥取県獣医学会 獣医師会中国地区三学会	西尾尚紀
平成 28 年度	牛小腸の処理方法の違いによる汚染状況の比較とカンファ水による洗浄効果の検証	食品衛生担当業務研究発表会 鳥取県公衆衛生学会 中国地区食品衛生監視員研究発表会 全国食肉衛生検査所協議会中国・四国ブロック会議及び技術研修会（※） 鳥取県獣医学会	水谷恵子 織奥真弓※
	鳥取県内の豚における E 型肝炎ウイルス浸潤状況調査	食品衛生担当業務研究発表会 鳥取県獣医学会（※）	瀧奥暁子 山本香織※
平成 29 年度	鳥取県内のと畜場における牛・豚の基質特異性拡張型 β -ラクタマーゼ産生大腸菌の保有状況について	食品衛生担当業務研究発表会 鳥取県公衆衛生学会 中国地区公衆衛生学会 中国地区食品衛生監視員研究発表会 全国食肉衛生検査所協議会中国・四国ブロック会議及び技術研修会 鳥取県獣医学会 獣医師会中国地区三学会 食肉衛生技術研修会・衛生発表会（全国）	水谷恵子

	と畜検査において認められた非定型牛白血病の一例	鳥取県獣医学会 獣医師会中国地区三学会 全国食肉衛生検査所協議会病理部会	西尾尚紀
平成 30 年度	と畜場における動物用医薬品が使用された獣畜への対応について	食品衛生担当業務研究発表会 鳥取県公衆衛生学会 鳥取県獣医学会	大下幸子
平成 31 年度 (令和元年度)	Colony sweep PCR 法を用いた関節炎型豚丹毒診断法の検討	食品衛生担当業務研究発表会 鳥取県公衆衛生学会 鳥取県獣医学会	山本香織
	と畜場における動物用医薬品の不適正使用事例について	全国公衆衛生獣医師協議会調査研究発表会	西尾尚紀
令和 2 年度	豚の感染性心内膜炎症例の敗血症判定方法の検討	食品衛生担当業務研究発表会 中国地区食品衛生監視員研究発表会 全国食肉衛生検査所協議会中国・四国ブロック会議及び技術研修会 全国食肉衛生検査所協議会微生物部会(※)	織奥真弓 上田豊 [※]
令和 3 年度	家畜伝染病及び届出伝染病に対する食肉衛生検査所の検査体制について	全国食肉衛生検査所協議会中国・四国ブロック会議及び技術研修会 食肉及び食鳥肉衛生研究発表会	稲垣文弥
令和 5 年度	と畜場における牛の Sarcocystis 属の寄生状況	食品衛生担当業務研究発表会 鳥取県公衆衛生学会 鳥取県獣医学会 獣医師会中国地区三学会	湯村優子

と畜場における牛の *Sarcocystis* 属の寄生状況

鳥取県食肉衛生検査所 ○湯村優子、羽田智栄、大友麗、永田麻理子

1. はじめに

Sarcocystis(住肉胞子虫)は筋肉内に寄生する寄生虫の一種で原虫に分類される。国内では馬肉の生食による *Sarcocystis fayeri*に起因する食中毒が知られており、ブラディゾイト(虫体)を含むシスト(嚢子)が形成された獣畜の肉を適切な冷凍処理または加熱処理されていない状態で喫食することで、ブラディゾイト中に含まれる毒性タンパク質により一過性の下痢、嘔吐、腹痛等の症状を発症することがある。牛を中間宿主とする *Sarcocystis* の一種である *Sarcocystis cruzi* のシストについても *S.fayeri* と同一の毒性タンパク質の存在が報告されており[1]、同様の症状を引き起こす可能性が示唆されている。本県における *Sarcocystis* を原因とする健康被害は現時点で報告されていないが、今回、県内のと畜場に搬入された牛の *Sarcocystis* について、寄生状況の調査を行ったので報告する。

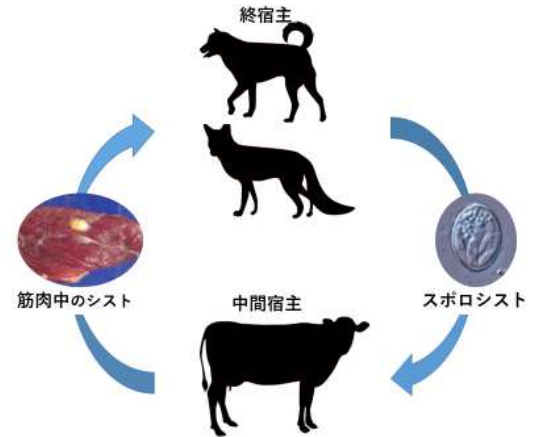


図1 *S.cruzi* の生活環

2. 材料および方法

(1) 供試材料

令和5年3月から4月に病畜として搬入された牛47頭(乳牛雌36頭、乳牛去勢3頭、和牛雌6頭、和牛去勢2頭)を対象とした。*S. cruzi* のシストは心臓に最も多く分布する[2]という報告に基づき、心臓の心室中隔を採材し検体とした。

(2) 組織中のシスト検出

1 検体あたり 2x2x2cm のブロックを切り出し、10%中性ホルマリン緩衝液で固定した。固定したブロックについて、常法に従ってパラフィン包埋、薄切、HE染色を行った後鏡検し、シストを確認したものを陽性とした。

(3) 遺伝子検出

(2)において陽性が認められ、冷凍保管されていた2検体の肉片から QIAamp DNA Mini kit を使用してDNAを抽出し、Pritt.Bらの方法[3]により *Sarcocystis* 属に共通する 18SrRNA を標的とした定性PCRを行った。得られたPCR産物について、アガロース電気泳動により約1,100bpのバンドが確認されたものを陽性とした。

(4) シーケンス

遺伝子検査で陽性となった検体から得られたPCR産物をシーケンス解析によって塩基配列を決定し、NCBI GenBank データベースを用いて BLAST 検索を行った。

3. 結果

(1) 組織中のシスト検出

47 検体中 35 検体(74.5%)で好塩基性のブラディゾイトを容れたシストを認めた(図2)。シスト壁は薄く縞構造を有しておらず、形態的特徴は *S.cruzi* に類似していた。シスト陽性率は乳牛雌で 86.1%、乳牛去勢で 0%、和牛雌及び和牛去勢がともに 50%と、乳牛雌で高い陽性率を示した(表1)。乳牛について月齢別に陽性率を比較したところ、30 か月齢以下では 0%であったが、31 か月齢以上で 66.7%~100%と高い陽性率を示した(図3)。また陽性個体の1切片あたりのシストの数は和牛去勢、和牛雌が1~7個と比較

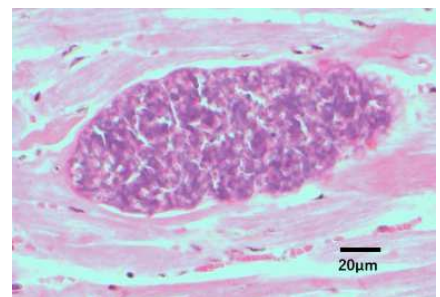


図2 *Sarcocystis* のシスト(HE染色 ×400)

的少なかつたのに対し、乳牛雌では1～51個と多い傾向にあった(図4)。

表1 種類ごとの陽性率

種類	陽性率	平均月齢	平均シスト数
乳牛雌	86.1%(31/36)	63.4(25-107)	13.9(0-51)
乳牛去勢	0%(0/3)	15(12-17)	0
和牛雌	50.0%(3/6)	94(32-167)	1.7(0-7)
和牛去勢	50.0%(1/2)	27(26-28)	1(0-2)

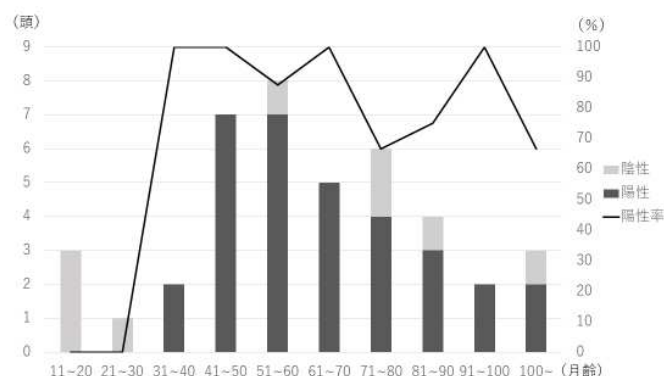


図3 月齢と陽性率(乳牛全体)

(2) 定性PCR検査による *Sarcocystis* 属の検査
定性PCR検査を行った2検体で約1,100bp付近にバンドが確認された。

(3) シーケンスによるDNA解析

シーケンス解析によって決定した1,024bpがBLAST検索により *S. cruzi* (Accession MH129611)と100%一致し、高い相同性が確認された。

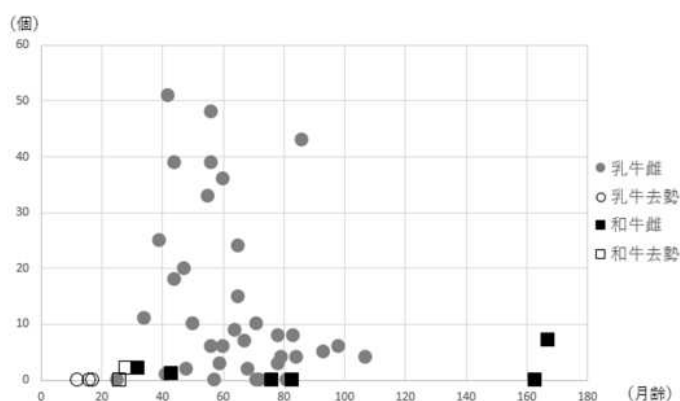


図4 種類ごとの月齢及びシスト数

4. 考 察

牛に寄生する *Sarcocystis* には *S. hominis*, *S. cruzi*, *S. hirsuta* の3種が知られており、本調査において陽性個体から得られた2検体のシストはDNA解析により、最も一般的である *S. cruzi* と同定された。

国内における牛の *S. cruzi* 感染率は品種によるが30～90%であり[4]、また、年齢とともに上昇するとされ[2]、本調査においても他の品種より月齢の高い乳牛雌は86.1%と高いシスト陽性率を示した。一方で、和牛雌では陽性率が50%とやや低く、シスト数も少なかつた。年齢の高い牛は若齢のものより感染を受ける機会が多くなることが考えられるが、飼育形態や飼育環境等、その他の要因の影響があるものと推察された。

感染牛におけるシスト陽性率は心臓が100%であるのに対し、枝肉では30～40%前後と低く、シスト数も有意に低いとされている[5]。しかし、この度の調査で雌の乳牛を中心に *Sarcocystis* の高い感染状況が認められ、加熱不足の牛肉を喫食することで健康被害を引き起こす可能性は否定できない。牛に寄生する *Sarcocystis* の人に対する明確な病原性については未だ不明な点も多いため、より安全に牛肉を喫食するためには十分な加熱が必要であると考えられる。

参考文献

- [1] 鎌田洋一: *Sarcocystis fayeri* を含んだ馬肉による食中毒, 食品衛生研究, 11, 21-27 (2011)
- [2] 斉藤守弘, 柴田 穰, 東 久, 板垣 博: *Sarcocystis cruzi* シストの牛筋肉における寄生分布, 日獣会誌, 51, 453-455 (1998)
- [3] Pritt, B., Trainer, T., Simmons-Arnold, L., Evans, M., Dunams, D., Rosenthal, B. M.: Detection of *Sarcocystis* Parasites in Retail Beef: A Regional Survey Combining Histological and Genetic Detection Methods: *J Food Protect.*, 71, 2144-2147 (2008)
- [4] 松尾加代子, 佐藤 宏: 岐阜県における牛の住肉胞子虫侵淫度調査, IASR, 33, 160-161 (2012)
- [5] 松尾加代子, 後藤判友: 牛肉における住肉胞子虫感染の現状, 日獣会誌, 66, 638-640 (2013)

IV 参 考 資 料

1 年度別と畜検査頭数（鳥取県）

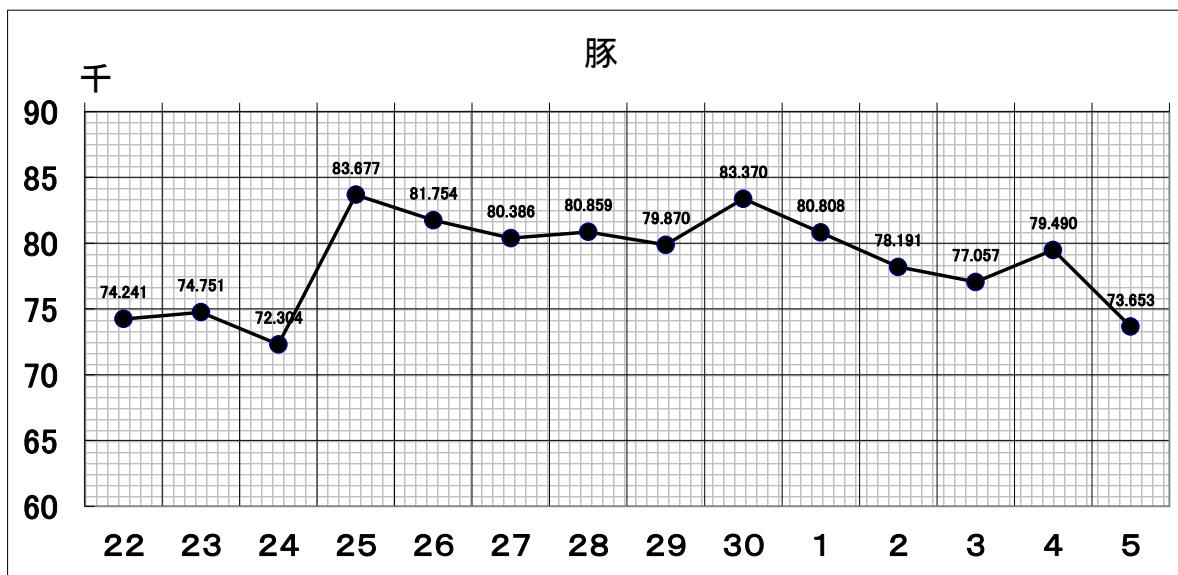
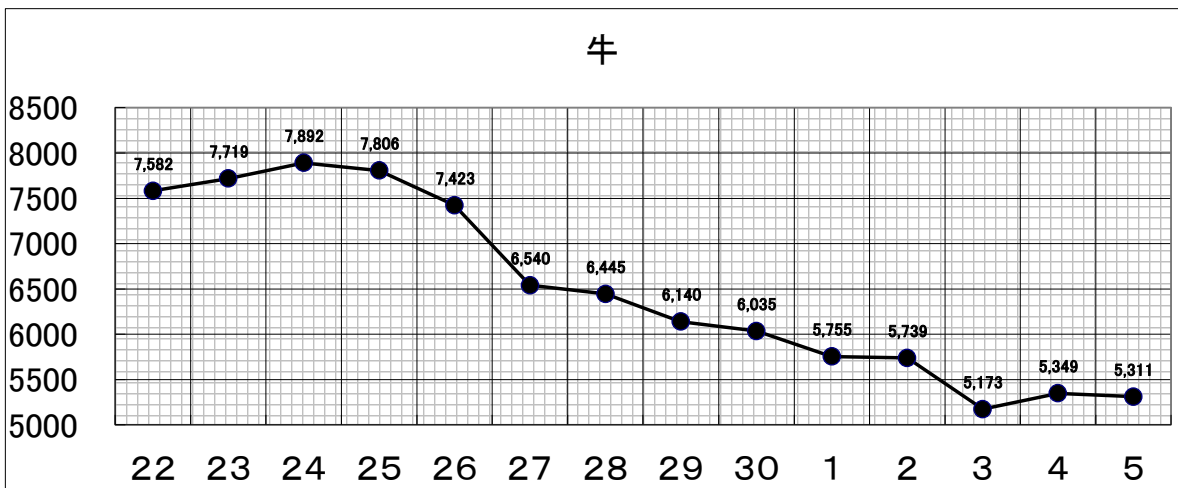
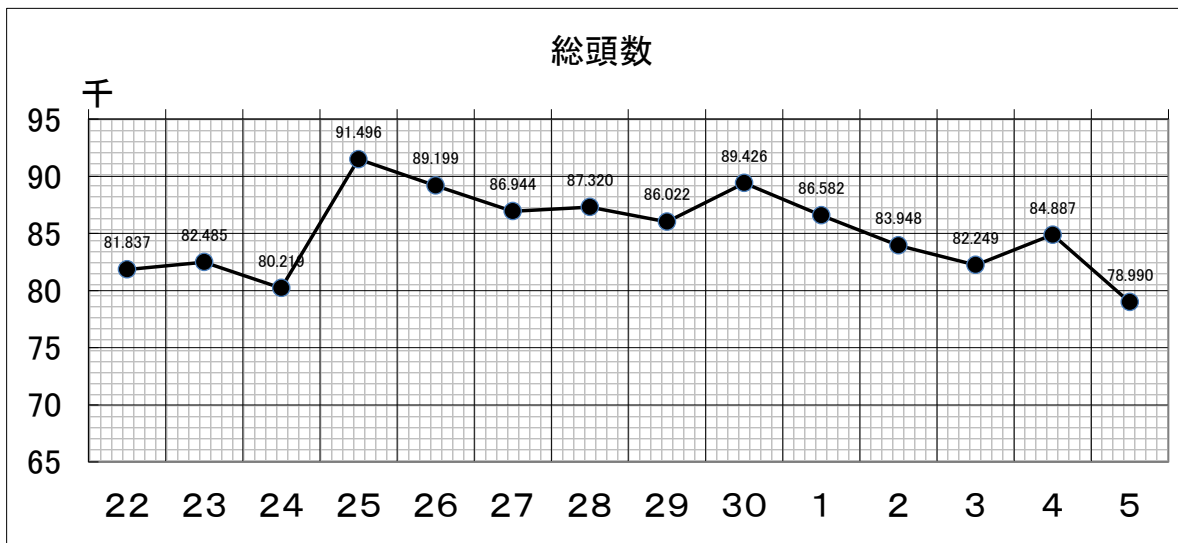
年 度	と畜検査頭数			病畜検査			廃棄頭数				試験室内検査	
	総 数	と畜場内	場外	総 数	時間内	時間外	総 数	全 部	禁 止	一 部	頭 数	件 数
H6	82,509	82,508	1	1,679	1,642	137	38,062	237	1	37,825	880	24,544
7	79,625	79,624	1	1,531	1,500	131	37,656	244	1	37,412	865	20,015
8	69,900	69,899	1	1,627	1,591	36	31,693	158	2	31,535	1,007	11,410
9	63,289	63,288	1	1,539	1,513	26	29,769	152	1	29,617	900	11,902
10	69,032	69,032	0	1,515	1,500	15	34,826	137	0	34,689	637	7,906
11	67,343	67,343	0	1,406	1,387	19	30,379	150	2	30,229	607	9,220
12	68,063	68,063	0	1,221	1,209	12	28,849	153	1	28,696	829	7,529
13	73,109	73,109	0	1,136	1,133	3	29,202	155	0	29,047	421	4,478
14	79,599	79,599	0	1,062	1,060	2	31,776	170	1	31,605	544	7,505
15	85,064	85,064	0	1,094	1,091	3	41,213	228	3	40,985	590	8,550
16	84,838	84,838	0	991	988	3	39,492	225	2	39,267	606	10,096
17	81,834	81,834	0	1,004	999	5	32,817	134	1	32,683	504	4,809
18	77,126	77,126	0	929	927	2	37,427	186	0	37,241	564	6,677
19	71,081	71,081	0	864	864	0	34,956	232	4	34,724	572	7,443
20	72,044	72,044	0	893	893	0	32,117	212	1	31,905	632	8,167
21	81,590	81,590	0	727	727	0	32,079	161	0	31,918	699	4,493
22	81,837	81,837	0	719	719	0	31,941	122	0	31,819	877	4,593
23	82,485	82,485	0	673	673	0	36,752	157	0	36,595	913	5,008
24	80,219	80,219	0	679	679	0	38,467	128	1	38,339	944	4,944
25	91,496	91,496	0	721	720	1	43,231	149	1	43,082	863	5,218
26	89,199	89,199	0	623	623	0	48,922	131	1	48,791	433	3,190
27	86,944	86,944	0	629	629	0	45,273	155	0	45,118	503	3,549
28	87,317	87,317	0	599	599	0	40,368	189	3	40,179	540	3,952
29	86,022	86,022	0	599	598	1	35,047	158	0	34,889	515	4,028
30	89,426	89,426	0	650	649	1	34,072	299	0	33,773	389	4,743
R1	86,582	86,582	0	678	678	0	41,412	312	2	41,098	389	2,908
2	83,948	83,948	0	624	624	0	36,807	240	1	36,566	294	1,231
3	82,249	82,249	0	606	606	0	26,634	344	5	26,285	433	1,881
4	84,887	84,887	0	516	516	0	31,473	276	3	31,194	208	1,017
5	78,990	78,990	0	412	412	0	19,042	183	1	18,858	243	1,504

2 畜種別と畜検査頭数（（株）鳥取県食肉センターと畜場）

年 度	総 頭 数	牛				馬	と く		豚	めん羊	山 羊	開 場 日 数
		和牛	乳牛	肉専 用種	計		大	小				
21	81,590	2,280	5,442	0	7,722	0	4	0	73,848	12	4	241
22	81,837	1,962	5,620	0	7,582	1	5	0	74,241	6	2	243
23	82,485	2,083	5,636	0	7,719	0	4	0	74,751	8	3	243
24	80,219	2,234	5,658	0	7,892	0	6	0	72,304	12	5	242
25	91,496	2,112	5,694	0	7,806	0	2	0	83,677	11	0	244
26	89,199	2,345	5,078	0	7,423	0	9	0	81,754	10	3	244
27	86,944	1,962	4,578	0	6,540	0	10	0	80,386	7	1	241
28	87,317	1,937	4,508	0	6,445	0	10	0	80,856	2	4	245
29	86,022	1,823	4,317	0	6,140	0	8	0	79,870	3	1	242
30	89,426	1,797	4,238	0	6,035	1	7	0	83,370	10	3	242
R1	86,582	1,863	3,892	0	5,755	0	7	0	80,808	9	3	240
2	83,948	1,946	3,793	0	5,739	0	5	0	78,191	0	13	241
3	82,249	1,601	3,570	2	5,173	0	5	0	77,057	5	9	242
4	84,887	1,715	3,632	2	5,349	0	8	0	79,490	10	30	242
5	78,990	1,810	3,500	1	5,311	0	2	0	73,653	12	12	240

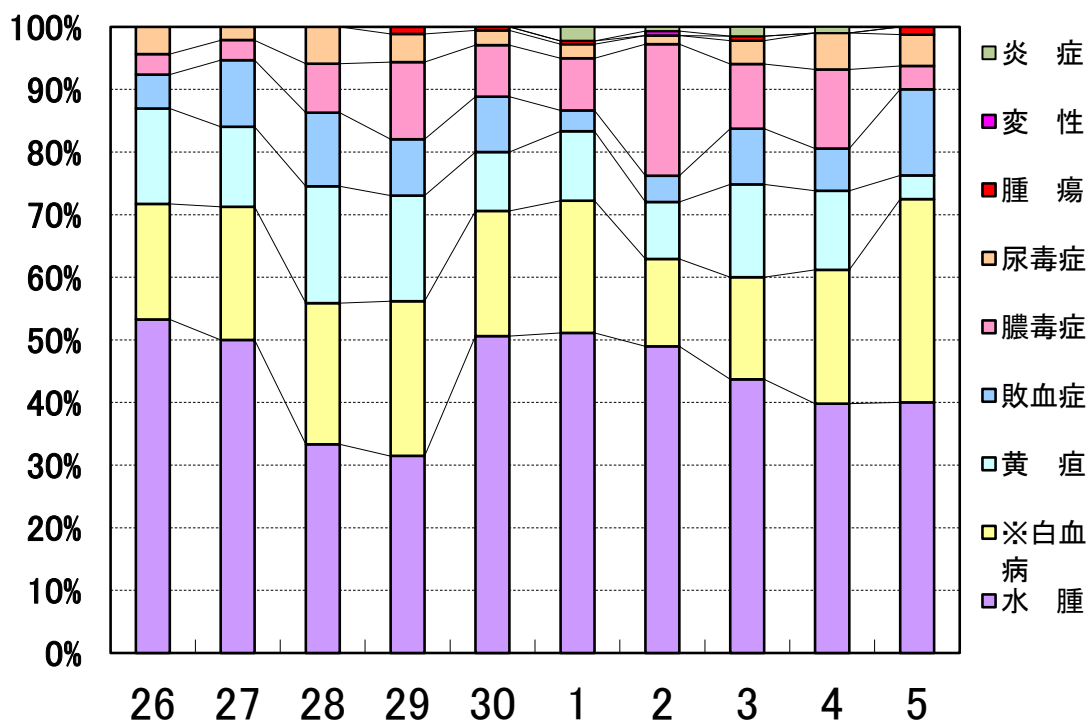
注：「とく」は生後1年未満の牛、小とくは生体50kg未満、大とくは生体50kg以上のもの。

3 と畜検査頭数の推移



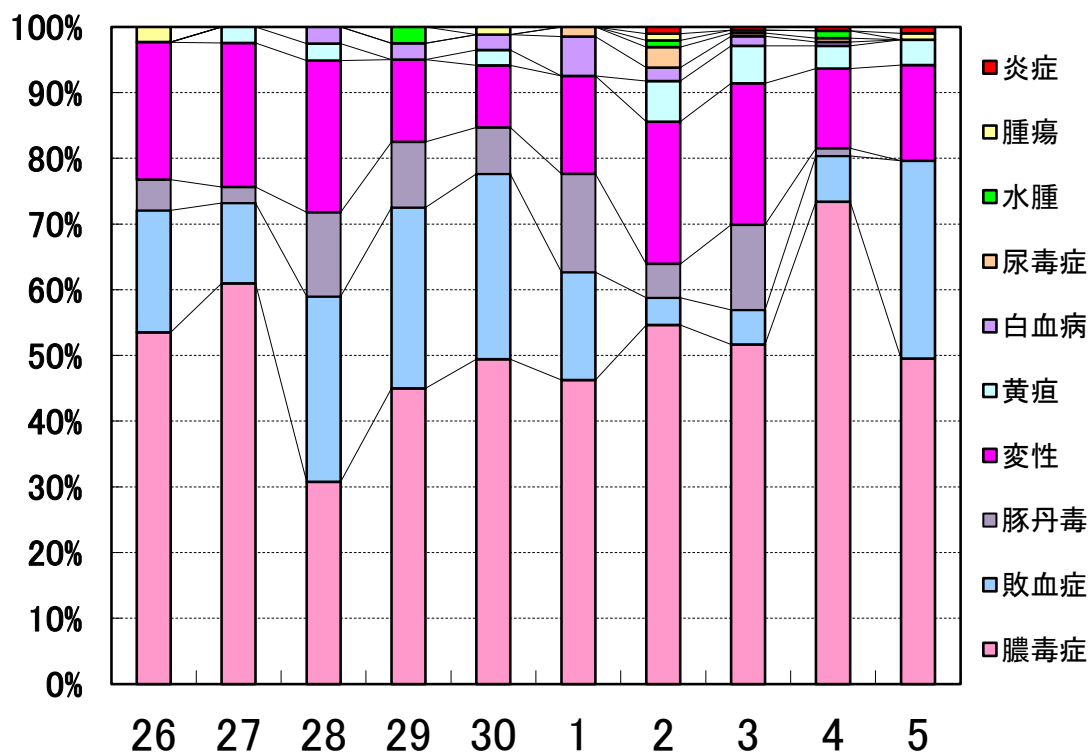
4 全部廃棄原因別状況

牛



※『白血病』は、令和2年7月から『牛伝染性リンパ腫』に名称変更

豚



5 検査結果に基づく処分頭数

(単位：頭数、%)

区 分		総 数							令和 5 年度の畜種別内訳					
		29 年度	30 年度	元年度	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	牛	馬	とく	豚	めん羊	山羊
検査頭数		86, 022	89, 426	86, 582	83, 948	82, 249	84, 887	78, 990	5, 311	0	2	73, 653	12	12
処分頭数		35, 047	34, 072	41, 412	36, 807	26, 634	31, 473	19, 042	3, 644	0	1	15, 393	3	1
(処 分 率)		(40. 7)	(38. 1)	(47. 8)	(43. 8)	(32. 4)	(37. 1)	(24. 1)	(68. 6)		(50. 0)	(20. 9)	(25. 0)	(8. 3)
内 訳	とさつ・解体禁止	0	0	2	1	5	3	1	0	0	0	1	0	0
	全部廃棄	299	299	312	240	344	276	183	80	0	0	103	0	0
	(処 分 率)	(0. 33)	(0. 33)	(0. 36)	(0. 29)	(0. 42)	(0. 33)	(0. 23)	(1. 5)			(0. 14)		
	一部廃棄	33, 773	33, 773	41, 098	36, 566	26, 285	31, 194	18, 858	3, 564	0	1	15, 289	3	1
(処 分 率)	(37. 8)	(37. 8)	(47. 5)	(43. 6)	(32. 0)	(36. 7)	(23. 9)	(67. 1)	(50. 0)			(20. 8)	(25. 0)	(8. 3)

6 鳥取県食肉衛生検査所案内図

- 列車を利用される方へ
JR山陰本線 御来屋（みくりや）駅から検査所までの公共交通機関はありません。予め検査所へ御連絡ください。
* 御来屋駅から車で7分（約6km）
- 車で来所される方へ
山陰自動車道または国道9号線を御利用ください。詳細は下図を御参照ください。なお、不明な場合は検査所へ御連絡ください。
* JR米子駅から車で40分

